APRIM2023　いよいよ開催へ！

渡　部　潤　一
APRIM2023　組織委員会委員長
e-mail: jun.watanabe@nao.ac.jp

2023年夏，福島県郡山市におけるアジア太平洋地域の天文学に関する国際会議（以下，APRIM）の開催がいよいよ迫ってきました．すでにIAU会員の皆様にはお知らせが届いていると思いますが，ここでは，その概要について改めてご紹介し，皆様の積極的なご参加をお願いしたいと思います．

1.　経　　緯

国際天文学連合（IAU）では，3年に一度の全体総会（General Assembly）のほかに，地域ごとの地域会議を3年ごとに開催してきました．このうちアジア太平洋地域での地域会議Asia-Pacific Regional IAU Meeting（APRIM）は，1978年を皮切りに3年ごとに開催してきましたが，2020年夏のオーストラリア・パースで開催予定だった第14回が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止に追い込まれました．一方，日本では1984年の第3回京都大会，および2002年の第8回東京大会と過去に2回開催して以来，かなり間が空いていたため，日本学術会議物理学委員会IAU分科会で本会議の招致を議論し，第24期第6回のIAU分科会（2019年7月29日）において，2023年の開催を誘致することを決定しました．その詳しい経緯は，すでに天文月報2021年7月号の「月報だより」でお知らせした通りで，その当時から組織委員会が立ち上がっております．現在，日本学術会議の共同主催国際会議のひとつとして申請中です．

2.　まずはAPRIM2023のWEBページで最新情報のチェックを

公式なWEBページが立ち上がっており，必要な情報は随時更新しつつあります．下記にアクセスするか，APRIM2023と検索していただくとたどり着くことができます．

WEBページのURL： https://aprim2023.org/

簡単なご質問などにも回答できるようになっておりますので，是非ご活用ください．

3.　全体の日程の概略

とはいえ，ここでは全体の日程の概略を紹介しておきましょう．会期は2023年8月7日（月）～8月11日（金）がメイン会場の「ビッグパレットふくしま」で，12日（土）はパブリックレクチャーを郡山駅前の「郡山市ふれあい科学館」で行う予定です．現在，予定されているスケジュールは表1のようになっております．各々のセッションの割り当てについては，投稿件数にも依存するため，WEBページで最新情報をご確認くだされば幸いです．

なお，ポスター及び展示会は本会議期間中（8月7日昼～11日昼）を通じて掲示予定です．

4.　どんなセッションが企画されているか？

今回の会議では，2020年開催予定であったAPRIMのセッションの構成をもとに，SOC（Scientific Organizing Committee）で検討した改

表1　APRIM2023　全体日程表（予定）.

8月	7日（月）	8日（火）	9日（水）	10日（木）	11日（金）	12日（土）
午前		セッション	セッション	セッション	セッション	パブリックレクチャー（ふれあい科学館）エクスカーション（福島県内）
昼		各種委員会	各種委員会	各種委員会	各種委員会	
午後	オープニング／セッション	セッション	エクスカーション（郡山市内周辺）	セッション	セッション クロージング	
夜	ウェルカムレセプション		バンケット（郡山市内）			

定を加えて，現在，下記の9セッションを企画しています.

1. Planets In and Outside of the Solar System
2. Physics and Evolution of the Sun and the Stars
3. From ISM to the Stellar and Planetary Systems
4. Compact Objects and High Energy Astrophysics
5. Galaxy, Galaxies and their Beginnings
6. Multi-messenger Astronomy
7. Telescope and Detector Projects On and Out Of the Grounds
8. Networking the Public Outreach, Development and Sustainability
9. Astroinformatics in Big Data Era

基本的にすべてオープンに講演は公募しますが，全体のPlenary talkおよびセッションごとのInvited talkを企画しています．いつも通り，投稿された講演はSOCが査読のうえ，口頭発表か，ポスター発表かに振り分けます．また，セッション7の一部として，Future of research cooperation in Asia-Pacific Regionというビジネスサブセッションを企画中で，これはInvitedのみの講演とし，議論を中心に据える予定で調整しています.

5.　開催形式はハイブリッドに

新型コロナウイルスの感染状況がどうなっているか，予想が立てられませんが，組織委員会としてはハイブリッド形式を採用することに決断しました．また，なるべく多くの若手研究者や学生に参加を促すため，旅費補助を行う予定ですが，IAUからの補助だけでなく，会議開催に関わる活動を支援してくださる個人や企業の皆様から広く寄付を募ることで，その原資に充てたいと思っておりますので，本学会員の皆様にもご協力をお願いします．手続き方法などの詳細は，APRIM2023 WEBページに掲載いたしますのでご参照いただきたいと思います.

6.　サテライト会合

APRIM2023に前後して，様々なサテライトミィーティングが企画されつつあります．これまでに把握しているのは，主催者の一つである会津大学におけるWorkshop for Astroinformaticsで，8月12日（土）に開催されます．また，翌週には台湾においてK-12 Astronomy Educationという天文学における学校教育関係の会議（https://www.astro.ncu.edu.tw/APRIM_K12/）が予定されています．これ以外にも，企画されるかもしれませんので，詳細はWEBページでご確認いただければと思います.

7.　各 種 締 切

肝心の各種締切は次の表2のようになっております．特に参加旅費の補助申請については，アブストラクト投稿が必須になっています.

表2　各種の締切りについて．

2023年1月16日	アブストラクト投稿＆参加登録受付開始
2023年3月10日	アブストラクト投稿，旅費補助申請締切
2023年5月31日	早期参加登録締切
2023年6月7日	プログラム決定・公開

8.　日本国内からの参加者へのワンポイントアドバイス

参加者向けに市内のホテルの部屋をある程度は確保する予定ですが，会期中の11日が祝日であり，夏の各種イベント・観光シーズンと重なっているため，参加を検討される方はなるべくホテルなどをお早めに予約されることをお勧めいたします．とりわけ郡山駅から磐越西線で15分ほどのところには，由緒ある磐梯熱海温泉があり，駅周辺に多くの旅館やホテルがありますので，そちらもお勧めです．ただし，磐越西線は本数が少ないという欠点がありますので，時刻表など地元情報を参考にスケジュールを立てられることをお勧めします．

また，福島県はなんでも美味しいことで有名です．郡山市は鯉料理が独特の食文化となっていますが，それだけでなくお米もお酒もみな美味しいので，楽しんでいただけるでしょう．とりわけ日本酒に関しては，全国新酒鑑評会において，2022年度は17銘柄が金賞を獲得し，新型コロナウイルスの影響で最終審査が中止となった年を挟んで，都道府県別金賞受賞酒銘柄数が9回連続の日本一に輝いています．国際宇宙ステーションに持って行った酵母を基にした「宇宙酒」も多くの酒蔵で作られています．こうした多くの物産についても会場で展示販売なども企画しておりますので，ぜひとも皆様のご参加をお待ちしています．